

2012年11月30日

～住友林業社有林の四季、サステナブルな森の力を表現～
2013年 オリジナルカレンダー“輝” 30名様にプレゼント
応募締め切り：2012年12月14日（金）

【応募は締め切らせて頂きました。たくさんのご応募をありがとうございました。】

住友林業株式会社（社長：市川 晃・本社：東京都千代田区）は、社有林の四季折々を撮影した2012年オリジナルカレンダー“森人”を製作し、ご応募いただいた方の中から抽選で30名の方々にプレゼントします。

弊社は、創業320年の歴史の中で、「森」を育てることによって、「木」の素晴らしさと自然の恵みの大切さを学んで参りました。当カレンダーでは、北海道・和歌山・四国・九州に広がる約4万2,800ヘクタール（国土の約1/900）の社有林の四季それぞれの姿を表現しています。

2013年のカレンダーでは、テーマを“輝（かがやき）”とし、住友林業の社有林の四季の姿、ダイナミックな山々をとらえ、光輝く情景を通じて、森の色や形の美しさをイメージして撮影・制作しました。年齢や性別を問わず、多くの方々に、森や木、自然環境の大切さを、カレンダーを通して感じていただきたいという願いを込めています。それぞれの社有林をよく知るカメラマンが森の一瞬の表情をとらえ、力強さと雄大さを表現しています。

弊社は、2006年9月、社有林全山で日本独自の森林認証制度である「SGEC（緑の循環認証会議）」の認証を一括取得しました。天然林と人口林が混在する森をまとまった面積で所有管理し、作業計画、長期計画など持続可能な森林を目指す適正な管理を実施していることが評価され、本認証の取得に至っています。2012年は、リオデジャネイロ（ブラジル）において「国連持続可能な開発会議（リオ+20）」が開催され、世界で、「持続可能な開発及び貧困緩和の意味でのグリーン・エコノミー」と「持続可能な開発の組織的フレームワーク」の重要性があらためて認識された年でした。

住友林業グループでは、「再生可能で人と地球にやさしい自然素材である「木」を活かし、『住生活』に関するあらゆるサービスを通じて豊かな社会の実現に貢献する」企業姿勢のもとサステナブルな社会の実現にむけ取り組みを続けて参ります。

住友林業オリジナル「2013年カレンダープレゼント」の詳細は、別添の通りです。

<<記>>

- ◆プレゼント商品：住友林業オリジナル 社有林カレンダー“輝”
カレンダーの体裁 A2サイズ(タテ610mm/ヨコ425mm、8
頁・表紙含む)

<<写真>>

月	社有林所在地	撮影
1～2	四国山林(愛媛県 新居浜市)	高橋 毅 氏
3～4	九州山林(宮崎県 椎葉村)	長野 良市 氏

5～6	和歌山山林(和歌山県 田辺市)	高嶋 義雄氏
7～8	北海道山林(北海道 紋別市)	伊藤 健次氏
9～10	四国山林(愛媛県 新居浜市)	高橋 毅氏
11～12	北海道山林(北海道 紋別市)	井村 淳氏

- ◆プレゼント数 : 30名さま(応募者多数の場合は、抽選とさせていただきます。)
- ◆応募方法 : 応募は締め切らせて頂きました。たくさんのご応募をありがとうございました。



表紙デザイン



11月～12月デザイン

<<住友林業株式会社 2013年カレンダー>>

以上

《お問い合わせ先》

住友林業株式会社

コーポレート・コミュニケーション室 佐藤・大西

TEL:03-3214-2271